

大会プログラム

議案

開会之辞

議長選挙

議長挨拶

各種委員並書記任命

祝辞・祝電・披露

本部報告

議事

執行委員長挨拶

閉会之辞

一般運動方針決定之件

規約改正ニ関スル件

労働新聞維持ニ関スル件

臨時労働部獲得ニ関スル件

最低賃金制獲得ニ関スル件

労働部設置ニ関スル件

労働部設置ニ関スル件

労働部設置ニ関スル件

以上

一般運動方針決定の件

客觀的状況

A 國際的状況

今や帝國主義階級にある世界資本主義は、(一) 生産と市場の矛盾、(二) 帝國主義諸國求間の政治的対立、(三) 階級斗争の激化、(四) ソウエートロシアと帝國主義國との対立、(五) 植民地と帝國主義國との対立の尖鋭化、昔の必然的諸矛盾を急速度に激化させてゐる。

斯くの如き世界資本主義の中に示現されてゐる一般危殆こそ資本主義の自身に有する矛盾が最後の破局的崩壊期に到達した如実なる表現に外ならず、今や全世界に流れるフワツシヨの波こそ崩壊を喰ひ止めんとする、哀れホヤとして笑ふべきブルジョアチの無駄な努力に過ぎないのだ。フワツシスムへの転向も、これこそが政治的危殆の増大を物語る具體的証左である。

B 國內状況

混乱と恐慌の眞只中、アヘタ世界資本主義の一部門たる日本資本主義も金融恐慌と國家財政の危機に直面して彼等自身の損失を無産階級の上に乗せんと政治的経済的抑圧の重加を更に倍加せんと目論みつつある。見よ、 $\text{V} \times \text{X}$ 戦争を契機としての、フアツシスム政治への転向こそは、封建的残存勢力と金融資本の結合による、プロレタリアート並に日本資本